

豊かな狛江をつくる市民の会通信	豊かな狛江をつくる市民の会 狛江市東和泉 1-1-18 いづみ荘 103 号室 新日本婦人の会狛江支部気付 連絡先：080-5084-1821（前土肥） 郵便振替口座番号 00140-3-727253
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <h1 style="margin: 0;">豊かな狛江</h1> </div>	

第 276 号（2023 年 7 月号） / 2023 年 7 月 1 日発行

市議会第 2 回定例会 一般質問で明らかになったこと

教員の増員、給食無償化、補聴器補助、医療費助成の拡充

6 月 16 日の第 2 回定例市議会本会議で日本共産党市議団

荒木てつ議員は、①教職員の長時間労働解消や特別支援教育など教育環境の充実、②音響信号機の増設など視覚障がい者への支援、③防災ラジオの利用拡大などについて質問しました。

市側は①まずは 35 人学級への対応を行なう②要望を調布署に伝える③対象者の拡大を検討すると答えました。

岡村しん議員は、①給食無償化や学童クラブの増設、②中央図書館の分割移転見直しと自衛隊への個人情報提供、③交通不便地域の解消について質問しました。

市側は①学校給食無償化について「必要に応じて国や都に声を上げていく」②中央図書館の分割移転は「このまま進める」など答えました。

宮坂良子議員は、①新型コロナ対策や带状疱疹ワクチン助成など感染症対策、②補聴器購入費への補助とエアコン・電気代の補助、③きょうだい児やヤングケアラーへの支援について質問しました。

市側は②補聴器補助について「他市の実施状況を見ながら福祉施策全般の中で調査研究していく」と答えました。

西村あつ子議員は、①子どもの医療費無料化拡大と日曜保育の実施、児童相談所の配置計画、②歩道の確保等、③市内事業者等への物価高騰対策支援などについて質問しました。

市側は①都と市長会の協議を注視しながら検討したい③国や都の動きを注視し総合的に検討すると答えました。

引き続きお知らせします。

また、社会常任委員会で「インボイス制度の導入延期を求める陳情」が継続審議を決定、総務文教常任委員会に旧統一協会関係者が提出した、全国霊感商法対策弁護士連絡会が政治家に家庭連合（旧統一協会）との関係断絶を求めることに対し、「不当」とする陳情は委員全員が反対し否決されました。今市議会は 7 月 3 日に閉会しますが、引き続き「豊かな狛江」で市政の現状、問題点をお知らせいたします。

図書館の分割・移転に反対、見直せの声がほとんど

市民センター改修・新図書館整備の基本設計の説明会が6月1日（木）夜と3日（土）午前の2回行われました。これまで開かれてきた説明会同様、発言された方のほとんどが”「基本方針」の決め方が「市民参加と市民協働条例」に反しているのではないか”、”図書館を2ヶ所に分割するのはおかしい、どうしてそのような案になったのかを明らかにせよ”と市の出席者に迫りました。基本方針は決まったことで議会でも承認されているといういつもの回答しかありませんでした。

司会者が、基本設計についての質問はと問うても、手を挙げる方は基本方針の決め方、内容のおかしさに言及する方ばかり。これほど市民に納得しない声があるのに、これまでの市のやり方では、”説明会は開いて皆さんの意見はお聞きしましたので基本設計、実施設計を進めます”となっています。本当にそれで良いのでしょうか。説明会に出席された方の声を集めました。

「ちょっと待って図書館移転！連絡会」（6/17）で出された感想、意見

（説明会後の動き）

・教育委員会で委員からも不安の声があったと聞くがこのまま進めて大丈夫かとの声。委員の間からも声が出始めた。

・岡村議員が議会で不安の声があったと聞くがどうだったのかと質問。教育部長は凶面の質問などしか紹介せず、

反対意見には全く触れなかった。

・企画財政部長答弁：基本設計が完了しましたので…と。既成事実化？

（6/1・6/3の説明会）

・2回の説明会ともこのまま進めてといった積極的な意見はなかった。

・以前同様司会は基本設計に限った質問、発言は1人1回と仕切っていた。

・今回案では図書館（新館）はゆったりとは言えない。

・市民の会の縦増築案見積もりは？⇒当時で約20億。今回案とさほど変わらず。

・2年間も図書館が使えないなんて！

・参加者の知りたいことと回答がかみ合っていない。①市民の会とのやり取り、2020春のアンケートにもなかった分割案がなぜ決まったのか、②一連の動きは市民参加条例に反しているのではないか、これに回答しない、説明会をしたというアリバイづくり。

・ごく少数で決めたといわれている：市長、副市長、教育長など。図書館、公民館の現場の声（館長含め）を聞いていないのは問題。

・市民の会がいい提案書をまとめたのに、長らくほおっておかれ、突如分割案！元に戻したい。こんな新図書館を子どもたちに残したくない。

・①新館ではカウンターが三つもある、職員増？それとも会計年度職員を充てる、または職員を置かない？矛盾だらけ。

・②図書館の工期は23か月（2年）、この間休館。一方商工会は休館ゼロ。1回では回答せず、追及すると回答。

・図書館分割、休館2年困る、

・駄倉地区センターがなくなるのは問題、

・こまえくぼが来るのは納得できない、性格が違うものが来る。

- ・分割の理由が答えられない：「子どもたちがうるさいといわれるので」はどこの図書館でもレイアウトで解決。
- ・市民の会の縦増築案も入れてアンケート、何らかの増築に7割近い賛成があった（2020/5公表）のに2020/8に突如分割案。理由不明。
- ・市民参加条例の手続きがとられていない。

- ・17億もかけるなら、現在地での充実も可能だし、駄倉に建設したいなら図書館を残し、公民館の一部を移転の方がまだマシ。
- ・2020年春のアンケート（無作為抽出）にあたり、回答した。今回案はその選択肢にない別案、中身も手続きもおかしい
- ・市民の会では夢があった。あまりに酷い。

市長自ら説明を

前土肥保（東野川）

6月3日（土）、狛江市が主催した「狛江市民センター改修基本方針および狛江市新図書館整備基本設計に係る市民説明会」に参加しました（記録は手元メモなので、不正確な点はお許し下さい）。

事前に入手した「基本設計」を見て特に気になった市民センターに残る「図書コーナー」が3フロアに分散していること、雑誌・新聞は「新図書館」に置かないこと、現在は1か所しかない図書貸出やレファレンスの「カウンタ」が5か所もあることを質問しましたが、納得できる回答はありませんでした。また図書館は2年近く休館するのに、商工会館は休館なしも驚きました。

商工会優遇問題、住民参加の必要性、駄倉地区は浸水が想定される、市民参加・協働条例違反ではないか・・・と10人近くの方が口々に疑問や質問、白紙撤回を提案され、賛成の意見はありませんでした。

後日の市議会第2回定例会で「納得していない市民が多くいる」と再検討を求める岡村しん議員に、市長は「現在の計画通り進める」「議会で予算を含めて決議されている」と答弁しましたが。岡村議員の「予算は内容が明らかになる前に議決されている」、「市長自らが市民に説明を」との追及に道理を感じました。

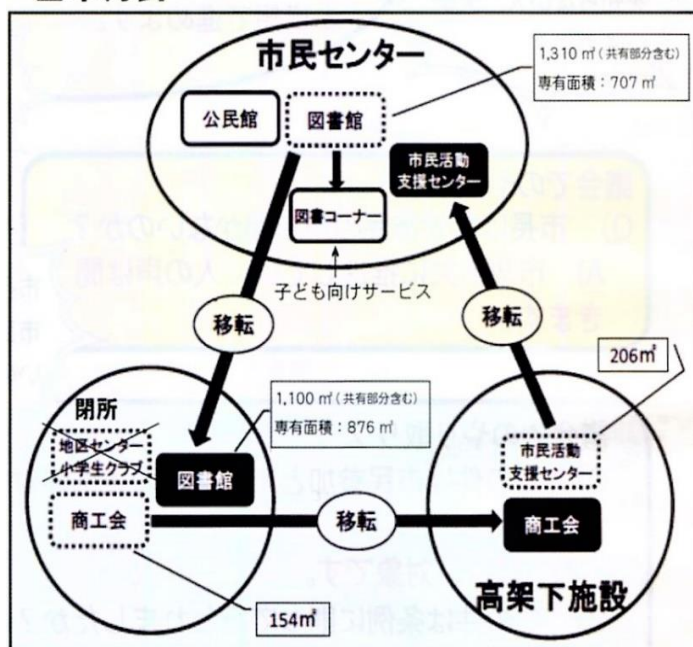
あきれ果てた市民説明会

当日配布された資料に2020年度に「基本方針」を決めたと書かれているだけで、なぜこの基本方針が決められたのか根拠が全く触れられていない。以後、基本方針を「前提条件」に進められて来た。市民から、常識としてあり得ない中央図書館の分割（新図書館は狭く、3階建てで市民が望んだ滞在型は裏切られ、新聞・雑誌、児童図書がない）をなぜ決めたのか、なぜそれまでに検討されてきた現在地での充実案を採用しなかったのか。疑問の声が挙がったのは当然であろう。

ところが、ここに至っても市の担当者は「我々は市長の補助職員なので、（基本方針は）前提です。」と一切の説明を拒否した。市長の一存で決まったと噂されているが、20億円の市民税を掛ける事業が一言の説明もなく実施されることは許されない。

図書館・公民館を利用している一市民

基本方針



公民館は改善されるのか？

公民館利用者 西尾真人

今回の新図書館建設・市民センター改修の基本的な問題は①市と協働で作った市民提案書を踏みにじり、一方的な図書館分割を柱とする「基本方針」を“決定”として、以後、一切、市民の批判を排除していること（市民参加と協働条例違反）、②中央図書館を分割すること、③新図書館があまりに狭く、現状の専有床面積とそれほど変わらず、建屋は地上3階建てとなり、読書室もなく、庭なし駐車場なしでイベントも不可。滞在型図書館にはほど遠く、市民の願いはことごとく踏みにじられている。

では、公民館は改善されるのか？利用団体の立場からは第一の希望は部屋数を増やして活動しやすくして欲しいである。それが実現するのか検討した。○私たちが自由に使える会議室等とフリースペースを併せ、また、廃止される駄倉地区センターの和室と会議室を含めると現状は1,450m²である。それが改修後は1,148m²に過ぎない。フリースペースを除いて会議室だけで比較しても1,140m²が1,043m²と減ってしまう。

○この状況を隠そうとするのか、現第1会議室を固定壁で分割したり、ロビーコンサートなど実績のある2階ロビー南側に会議室を設け、部屋数を増やしたように見せかけている。分割された狭い部屋を利用できるのは簡単な打合せ位で、団体の目的とする活動の多くは利用できない。2階ロビーは自由な使い道として大切な場所として残しておくべきであろう。すると部屋数は12になる。

○団体活動室が廃止される。コロナ禍を口実に現在は打ちあわせ等が出来ていないが、コロナ前は良い交流の場であり、ちょっとした打合せの場でもあった。しかも、印刷機や折り機がロビーにむき出しとなり、騒音問題も出る。コロナ禍で印刷機がロビーに置かれ、私は気を使いながら印刷しているのが現状である。団活室廃止は許されない愚挙である。

○どう考えても、現状は現利用者団体にとって何ら改善されないどころか、不便になる可能性さえある。最低限として、私達利用者団体から望んでもいない市民活動支援センターは入れるべきではない。それで、やっと面積的に現状を保つ程度になる。市は基本方針を撤回すべきである。

市の「市民センター改修基本構想概要」4Pの表より 太字ゴシック斜体は西尾が追加

	現状 (1,307m ² ・11部屋)			改修後 (1,748m ² ・17部屋)			実質面積	最小限の修正
		m ²			m ²			
会議等の部屋	1 講座室	127		1 講座室	127			
	2 第一会議室	36		2 多目的室(大)	86			15と交換
	3 第二会議室	40		3 多目的室(中)①	40			
	4 第三会議室	43		4 多目的室(中)②	29	現状フリースペースとして使いやすい。		元に戻す
	5 第四会議室	114	小計 360	5 多目的室(小)①	20	狭く、使い勝手は悪い	小計 318	元の第1会議室に。
音を出す部屋	6 ホール	239		7 多目的ホール	239			
	7 視聴覚室	117		8 パフォーマンススタジオ(大)	117			
			小計 356	9 パフォーマンススタジオ(中)	76			
専用用途				10 サウンドスタジオ	45		小計 477	
	8 和室	74		11 和室	65			
	9 美術工芸室	63		12 クラフトスタジオ	53			
	10 料理実習室	65		13 キッチンスタジオ	65			
	11 保育室	79		14 保育室	65		小計 248	
ベリース等	12 団体活動室	43	小計 324					復活 40
	各階ロビー	310		15 スタディコーナー	111	実質図書館スペース		2と交換
				16 多目的室(ティーンズルーム1)	70	青少年優先		
				17 多目的室(ティーンズルーム2)	79	青少年優先		
			小計 310	フリースペース(1階)	340	実質図書館スペース		
			フリースペース(2階)	50				
			フリースペース(地下1階)	55		小計 105		
	駄倉地区センター	100	小計 100	市民活動支援センター	160			公民館スペースに
			合計 1,450				合計 1,148	1,373

狛江でもPFAS汚染問題で緊急学習会・血液検査を実施

PFAS汚染を明らかにする狛江の会／日本共産党狛江市環境まちづくり推進室長 重国たけし

6月12日（月曜日）の午前中、「PFAS汚染を明らかにする狛江の会」（PFAS狛江の会）は、中央公民館講座室で「PFAS汚染緊急学習会～実態は？どうしたらいいの？～」を開催しました。有毒性が指摘されている化学物質・有機フッ素化合物（PFAS＝ピーファス）が、多摩地域の水道水や地下水にひろがり、狛江の地下水からも2021年度に暫定基準値の約8倍の410ナノグラム（1リットル当たり）が検出されるなどしたことから、影響を心配する声や実態解明を求める声が高まっていたことを受けて開催したものです。PFAS汚染問題は、「水と緑のまちづくり」を掲げる狛江市にとっても見過ごすことのできない問題です。

PFASとは

PFASとは人工的に作り出された合成化合物で、耐熱性、耐火性、耐水性に優れたおおよそ4700種類の化学物質群の総称です（PFOA、PFOSが代表的）。焦げつかないフライパンや化粧品など「暮らしを便利にする」数多くの製品に使われ、また、消火機能が非常に高いことから大規模火災に備えて基地や空港などに備蓄・使用される泡消火剤に加えられてきました。

しかしこの「有用な物質」が、実は、微量でも体内で蓄積され、発がん性や脂質異常症、子どもの成長の遅れ、生殖機能への影響があることなどが指摘され、今日、製造・輸入・使用が中止されるにいたっています。多摩地域の汚染については、米軍横田基地から流れ出た（使用・漏出）ことが大きな原因とみられています（行政は特定できないとしている）。

多摩地域で650人の血液検査

学習会では、PFASの毒性等についてまとめられた映像を視聴し、「多摩地域の有機フッ素化合物汚染を明らかにする会」（「多摩の会」）の講師から説明を受けました。講師からは、京都大学の研究者と協力しておこなった650人の住民の血液検査（PFASを体内に取り入れたかどうか分かる）の結果、ほぼ全員からPFASが検出され、過去の国内平均の3倍以上、米国アカデミーの指針値を超えている人が過半数となったことなどが報告されました。

そして高い値の出た人に対しては、腎臓が



んなど病気の早期発見・治療のための専門の相談外来を民医連の病院の協力を得て行っていることなどが紹介され、自治体、東京都、国に対して、地下水の汚染実態報告や汚染除去、健康影響の対応などを求めていくことなどが呼びかけられました。

狛江の実態、寄せられた声

私（重国たけし）も、この間公表されたデータや議会質問をもとに、狛江でも十年以上前から現在の暫定基準値を超えるPFASが地下水（水道にブレンドされていた地下水含む）から検出されていたこと（水道水については基準値以下を確認）や、議会での狛江市の答弁は「発がん性等についてリスク評価がなされていない。国や都の動きを注視していきたい。」などと、住民の不安にこたえて積極的に動くという姿勢にはなっていないことなどを報告しました。

参加者からは、「身近な問題だとあらためて感じた」「米軍基地からの汚染は、安保条約や地位協定があるからできないなどとしなくて、しっかり調べて欲しい」などの感想が寄せられました。また、今回参加できなかったから、夜間の学習会開催も行ってほしいなどの意見もよせられています。

「PFAS 狛江の会」へのご参加を

6月27日には、「多摩の会」により狛江からも20人が参加して血液検査が行われます。同じく井戸水の検査も予定されています。結果は、一カ月ほどで出ると見込まれています。引き続き報告会や学習会などにとりくんでいきたいと考えています。ご意見や情報などお寄せください。また、「PFAS汚染を明らかにする狛江の会」にご参加ください（連絡・問い合わせ先＝重国たけし

090-1775-9052、sigeny@nifty.com）

7月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
 ※本紙に折り込んでほしいビラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(月) 16時30分～ 17時30分	狛江駅前広場	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9日(日) 17時30分～18 時30分	狛江駅前	9の日行動 ＝駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
10日(月) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	戦争なんてイヤだ！狛江市民 実行委員会相談会	各加盟団体の皆さんは、ご出席 ください。
13日(木) 14時～	中央公民館 料理実習室	平和フェスタチラシ発送	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》
14日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」8月号編集会 議	
20日(木) 14時～16時	中央公民館 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連 絡 会》《こまえ九条の会》 意見交換会	新しい方の参加大歓迎です。
20日(木) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員 会	各加盟団体の皆さんは、ご出席 ください。
23日(日) 午 後		平和行進(今年は歩く予 定)	詳細は後日お知らせします。
24日(月) 14時～16時頃	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎で す。
25日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛 江』8月号の製本・仕分け 作業	
26日(水) 17時30分～18 時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の 会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部 などが中心。第4水曜日。

投稿 「小学生の教科書はどうなる？」

子どもと教科書狛江の会

和田哲子

ことしは小学校教科書採択の年、教科書カフェを開催しました

6月17日西河原公民館学習室1で糀谷陽子さん(子どもと教科書全国ネット21事務局次長・元中学校教師)のお話と、三木寛さん(都教組北多摩東支部狛江地区協)の学校現場からの報告でした。

糀谷さんは、今年の小学校教科書の特徴についてパワーポイントを使って詳しく話してくださいました。まず過去最大と言われた前回よりもさらに約2%ページ数が増えて、ひとり1台配布されたタブレットを持ち帰ることも含めるとランドセルは大変な重さになり、大きな負担になることを指摘されました。

そのタブレットに対応してすべての教科書にQRコードが付いて、従来の記述の他にそれによる調べ学習が求められること、しかもQRコードは検定の対象になっていないのでよいにつけ悪いにつけ出版社によってどのような内容が含まれているかよく検討する必要があることを指摘されました。先生方の適切な選択を期待します。

授業の進め方について事細かく提示されていることも特徴で、子どもたちと先生の間での生きいきした授業になるのかどうか気がかりです。

あらゆる教科で「道徳化」が進んでいることも指摘されました。「学んで、分かって、よかった、楽しかった!!」では終わらず、必ず「学んだことをどう暮らしに活かしますか」が求められま

す。「道徳」の教科書では毎時間振り返りの記入を求めるページもあります。もっとのびのびと「学校は楽しいところ」と思える教科書、授業に戻してやらないと、子どもたちは破裂してしまうのではないかと心配になりました。

三木先生は三小で卒業式に「アバター」で参加した子のことについて新しい機能で子どもたちの参加の可能性を広げるなどプラスに捉えたいと話されました。英語の授業では学校によって態勢に差があって、外部からの支援要員についても教育委員会からの支援が減らされる傾向があるという問題点が指摘されました。教科書採択についても学校からの調査研究資料の作成に細かな縛りを掛ける指示が来ているらしいということで、これについては子どもと教科書狛江の会としてもきちんと確認しなくては、と思いました。



みんなから むいから民家園で

かみしばい せんそう こまえ こ たち じょうえん
紙芝居 「戦争と狛江の子ども達」 が上演されます

企 画：「むかし 狛江で」 他に「カッパのクー助」など、むかしのお話と歌

日 時：2023年7月29日（土）午前10時～

主 催：教育委員会 実施者：紙芝居継承グループ&こまえ平和フェスタ実行委員会

狛江の自然



ササグモ

庭のノジギクの葉の上に1cmたらずの足にトゲトゲの毛が生えたクモを見つけた。ササグモという巣を作らず小さな虫を襲うクモで、住んでいる場所はほぼ植物の上限定のような。葉の上にといたり葉裏に隠れたり、しばらく楽しませてくれた。

周東三和子（中和泉在住）